

- 問1 東南アジアの主要な都市と、その地域で最も一般的に信仰されている宗教の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. フィリピンのマニラ — ヒンドゥー教 | 2. フィリピンのマニラ — プロテスタント | 3. インドネシアのジャカルタ — イスラム教 | 4. インドネシアのジャカルタ — カトリック |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問2 アジアの諸国には、その土地の資源や人口に応じた多様な産業構造が見られます。人口密度が1平方キロメートルあたり約15人と非常に低く、輸出額の7割以上を原油が占めている国々が位置する地域として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 東アジア | 2. 西アジア | 3. 南アジア | 4. 東南アジア |
|---------|---------|---------|----------|
- 問3 インド半島の中央部には広大な高原が位置しており、そこに含まれる肥沃な土壌は水分を保つ性質があるため、特定の作物の栽培に適しています。この地形の名称とその場所で盛んな作物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|------------------|-----------------|
| 1. チベット高原 — 茶 | 2. デカン高原 — 綿花 | 3. ブラジル高原 — コーヒー | 4. エチオピア高原 — 小麦 |
|---------------|---------------|------------------|-----------------|
- 問4 アラブ首長国連邦のドバイなどが、豊富な石油資源を保有しながらも、巨額の資金を投じて観光開発や国際的な金融機能の整備、自由貿易港の拡充を積極的に進めている理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 砂漠地帯での農業生産を最大化し、西アジア全域へ食料を輸出する農業大国としての地位を確立することを主目的としているため。 | 2. 南アメリカのリマやヨーロッパのフランクフルトとの間で、重化学工業の生産量による経済同盟を強化するため。 | 3. 将来的な石油資源の枯渇や世界的な脱炭素化の動きを見据え、石油に依存しすぎない持続可能な経済構造へと多角化するため。 | 4. 周辺諸国との軍事的な緊張を高めることで、自国の軍事産業を世界一の規模に成長させるための資金を得るため。 |
|--|--|--|--|
- 問5 中国の長江下流域から沿岸部にかけて広がる華中地域では、その自然環境を活かした食文化が発達しています。この地域の食文化の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 内陸の盆地特有の湿気を払うために、唐辛子や山椒などの香辛料を多用した刺激の強い味付けの料理が発展している。 | 2. 降水量が少なく乾燥した平原で栽培される小麦を原料とした、麺類やギョーザなどの粉もの料理が中心である。 | 3. 起伏の激しい高原地帯で行われる放牧によって得られる、羊の肉や乳製品を用いた料理が日常的に食べられている。 | 4. 長江などの大河川からもたらされる水資源を利用して生産された米や、豊富な魚介類を使った八宝菜などの炒め物料理が代表的である。 |
|--|---|---|--|
- 問6 2012年時点の統計において、世界で4番目に広い国土面積（約960万平方キロメートル）を持つ国はどこか。この国の面積は、3位のアメリカ合衆国よりもわずかに小さい。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|----------|
| 1. カナダ | 2. ブラジル | 3. 中国 | 4. ロシア連邦 |
|--------|---------|-------|----------|
- 問7 世界の諸地域の地形に関する記述のうち、インド北部に位置する広大な高地や険しい山脈が、周辺の環境や生活に与える影響や背景として正しいものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 環太平洋造山帯の一部として火山活動が活発であり、豊富な地熱エネルギーを利用した発電が地域の主力産業となっている。 | 2. 氷河による浸食によって形成された複雑な海岸線（フィヨルド）が発達しており、古くから天然の良港として利用されている。 | 3. 安定した古い地層からなるなだらかな高原であり、大規模な機械化農業や牧畜が広く行われている。 | 4. プレーートの衝突によって形成された標高8000mを超える山脈が、北側からの冷たい空気を遮り、南側の地域に高温多湿な気候をもたらす要因となっている。 |
|---|--|--|--|
- 問8 東アジアに位置し、広大な国土を持つ中国では、かつて人口の急増を抑えるために「一人っ子政策」と呼ばれる厳しい産児制限が行われていました。しかし、2015年にこの政策は廃止されました。その背景にある、現在の中国が直面している社会問題として最も適切なものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 急速な少子高齢化が進行し、将来の労働力不足や社会保障負担の増大が懸念されていること | 2. 都市部と農村部の間の経済格差が縮小したことで、人口を抑制する必要がなくなったこと | 3. 食料の自給率が劇的に改善し、人口爆発による食料不足の恐れが完全に解消されたこと | 4. 広大な内陸部を開発するために、強制的な移住を伴う人口増加が必要になったこと |
|--|---|--|--|
- 問9 日本への輸出額がEUへの輸出額を上回っている東南アジアの国、インドネシアの宗教的・地理的背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 世界最大のイスラム教徒人口を抱える島国である | 2. 国民の約9割がキリスト教を信仰する多民族国家である | 3. 仏教徒が人口の大部分を占め、日本へは主に米を輸出している | 4. 日本よりもヨーロッパ諸国との貿易額が常に大きい内陸国である |
|---------------------------|------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問10 タイなどの東南アジア大陸部の諸国では、オレンジ色の袈裟（けさ）をまとった僧侶が、修行の一環として人々の家を回って食料などの寄付を受ける光景が日常的に見られます。この宗教の名称として正しいものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|----------|-------|
| 1. ヒンドゥー教 | 2. イスラム教 | 3. キリスト教 | 4. 仏教 |
|-----------|----------|----------|-------|
- 問11 東南アジアの諸都市における月平均気温の統計資料を確認したところ、多くの都市が5月から6月に最高気温を記録する一方で、ある特定の都市では8月の月平均気温が26.3度と、1年の中で最も低くなるという特徴が見られました。このような気候の特徴を持つ都市が位置する場所として、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|--------------|
| 1. フィリピンのルソン島北部 | 2. ベトナムのインドシナ半島東部 | 3. インドネシアのジャワ島付近 | 4. マレー半島の先端部 |
|-----------------|-------------------|------------------|--------------|
- 問12 インドにおいて、情報通信技術（ICT）関連産業が急速に発展し、世界中へ多くのエンジニアや専門家を輩出している主な要因として、適切な説明はどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 豊富な石油資源の輸出利益を背景に、政府が他国のIT企業をすべて買収したため | 2. 高い教育水準による数学的能力の高さに加え、英語を話せる人材が豊富であるため | 3. 国内の労働賃金が世界で最も安いいため、単純な組み立て作業が集中しているため | 4. 仏教の平等な精神に基づき、身分制度に関わらず全国民が最新のコンピュータを所有しているため |
|--|--|--|---|
- 問13 サウジアラビアなどの産油国における経済統計を確認すると、原油価格が1バレルあたり94ドルと高値であった2008年には、国内総生産（GDP）も2081億ドルと高い水準にありました。しかし、価格が61ドルにまで落ち込んだ2009年には、GDPも1695億ドルへと減少しています。このような統計から読み取れる、産油国の経済の特徴として適切なものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 国内総生産の規模は、原油価格の推移とは逆の方向に動く性質を持っている | 2. 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある | 3. 製造業が高度に発達しているため、原油価格が変動しても国内総生産は一定である | 4. 原油価格の下落は、国内の消費を刺激するため国内総生産を押し上げる要因となる |
|---------------------------------------|---|--|--|